

ひと、みらい輝く交流のまち かでな

か で な ち ょ う

嘉手納町



市町村コード	473251	類型	Ⅲ-2
所在地	〒904-0293 嘉手納町字嘉手納588番地		
T E L	(098)956-1111	F A X	(098)956-9508
ホームページ	http://www.town.kadena.okinawa.jp		
指定地域	都市計画・産業高度・情通産振・観光促進		

〈組織〉 (平成31年3月31日現在)

町長	とうやまひろし 當山宏 任期 H35.2.17 (3期)	副町長	かみやまよしあき 神山吉朗 任期 H31.3.31 (2期)
副町長	- - 任期 - -	教育長	ひがひでかつ 比嘉秀勝 任期 H32.3.31 (2期)

〈概要〉

県下	34 位
総面積 H30.10.1	15.12 km <sup>2</sup>
耕地 H30.7.15	39 ha
宅地 H30.1.1	1,240,706 m <sup>2</sup>

県下	20 位
住基人口 H30.1.1	13,755 人
H27国調人口	13,685 人
H22国調人口	13,827 人
年少人口割合	17.2% (県全体 17.2%)
高齢化率	22.4% (県全体 19.6%)

住基世帯数 H30.1.1	5,621 世帯
H27国調世帯数	5,069 世帯
H22国調世帯数	4,937 世帯

有権者数 H31.3.1	10,791 人
男	5,154 人
女	5,637 人

議長	とくざとなおき 德里直樹	副議長	ちねんたかし 知念隆
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	16	16	H33.1.25
	常任委員会	党派構成	無所属
総務財政、文教厚生、建設経済	1	1	14

沿革

昭和23年12月4日	北谷村より分離 村制施行
昭和51年1月1日	町制施行
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H31~H40	中长期財政計画	H30~H34
基本計画	H31~H35	( 5年計画 1年ローリング )	
実施計画	H36~H46	( 3年計画 1年ローリング )	

※類似団体〇は修正値。ラス指数の〇は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈町の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

町花	ハイビスカス	町木	リュウキユウコクタン
町鳥	-	町魚	-

名所・旧跡	野国総管の墓、野国総管宮、比謝川、天川の池の碑、比謝橋、屋良ムルチ、屋良城跡公園、道の駅かでな
祭り、行事	野国総管まつり、鯉のぼりフェスタ、ハーリー大会、嘉手納町エイサーまつり、ビアフェスタ、泡盛まつり、嘉手納町産業まつり
名産・特産	野国いも加工品、黒糖まん、ちんすこう、かりゆしウエア、ハンドメイドコスメ、バーガー、アダン筆、自家焙煎珈琲、田芋饅頭、工芸品、洋菓子
姉妹都市	-
その他	-

〈平成31年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	西浜区学習等供用施設建替事業	継続	367
補助	比謝川緑地広場整備事業	継続	79
補助	防災行政無線デジタル化事業	継続	147
単独	定住促進事業	継続	23

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	嘉手納飛行場周辺まちづくり事業	H30~	5,260
補助	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25~H33	1,430
補助	密集市街地地区整備推進事業	H24~	924
補助	嘉手納町民俗資料館等整備事業	H29~	2,206

〈広域市町村圏・広域計画〉

第4次中部広域計画	
-	
-	
-	

〈基地面積〉 (H30.3末)

米国軍	
基地面積	1,240.4 ha
市町村面積に占める割合	82.0%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	1,240.4 ha
県面積に占める割合	0.54%

《教育》 (平成30年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
町立幼稚園	2園	169人
町立小学校	2校	910人
中学校	1校	459人
町立	1校	459人
町立以外	0校	0人

《医療》 (平成29年度)

区分	施設数	病床数
病院	1箇所	220床
町立	0箇所	0床
町立以外	1箇所	220床
診療所	9箇所	0床
町立	0箇所	0床
町立以外	9箇所	0床
住民千人当たり病床数		16.0床

《財政》

① 決算収支 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度
歳入総額	9,283	9,564	9,909
歳出総額	9,113	9,115	9,669
形式収支	170	449	239
実質収支	156	274	225
比率	3.7%	6.7%	5.4%
積立金	90	85	7
積立金取崩額	0	0	0
実質単年度収支	80	203	△ 41

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (H29年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金	
国民健康保険事業	157	360	195	
老人保健医療事業	0	0	-	
介護保険事業(保険)	0	0	-	
後期高齢医療事業	2	41	-	
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入金	
法非適	下水道事業	19	22	0
	-	0	0	0
	-	0	0	0
	-	0	0	0
法適	下水道事業	14	1	0
	-	0	0	0

④ 歳入の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	2,430	24.5%
地方譲与税	28	0.3%
地方交付税	1,500	15.1%
普通交付税	1,321	13.3%
特別交付税	179	1.8%
国庫支出金	1,678	16.9%
県支出金	998	10.1%
地方債	270	2.7%
その他	3,005	30.3%
歳入総額	9,909	100.0%

《産業》 ① 産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	61人	1.3%
第2次	859人	17.7%
第3次	3,936人	81.1%
合計	4,856人	100.0%

《福祉》

区分	施設数	収容定数
保育所(H30.4.1)	4箇所	300人
町立	2箇所	200人
町立以外	2箇所	100人
生活保護率(H29年度平均)		30.0人
人口千人当たり		

② 町内総生産 (H27年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	48	0.1%
水産	0	0.0%
鉱・製造	981	2.8%
建設	3,792	10.9%
電気ガス水道廃棄物	537	1.5%
運輸・郵便・通信	1,624	4.7%
卸売・小売	5,148	14.8%
金融保険不動産	1,272	3.6%
宿泊・飲食サービス	1,197	3.4%
専門・科学技術支援	2,619	7.5%
公務・教育	12,142	34.8%
保健衛生社会	3,597	10.3%
その他サービス	1,919	5.5%
合計	34,876	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財力指数	0.57	0.59	0.59	8	0.37	0.53	0.31
標準財政規模 a	4,162	4,094	4,179	17	8,354	22,703	3,092
経常収支比率	71.4	72.3	73.0	2	87.2	88.0	85.1
人件費	23.8	22.7	22.8	12	23.1	22.3	25.4
扶助費	4.6	4.5	5.3	18	15.4	18.3	8.1
公債費	6.0	5.8	5.6	1	14.4	14.7	13.5
物件費	16.8	17.2	17.9	29	14.5	14.0	15.7
その他	20.2	22.1	21.4	24	19.8	18.7	22.4
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	0.7	0.0	1.5	1	8.0	8.6	6.4
将来負担比率	-	-	-	-	27.1	43.8	-
税徴収率	94.7	96.1	97.0	10	96.6	96.8	95.9
現年課税分	98.3	99.0	99.0	9	98.7	98.8	98.6
滞納繰越分	26.8	40.1	41.3	10	37.8	39.3	33.6
債務負担行額 b	0	35	1,362	-	-	-	-
b/a %	0.0	0.9	32.6	-	-	-	-
地方債現在高 c	2,812	2,514	2,473	-	-	-	-
c/a %	67.6	61.4	59.2	1	-	-	-
積立金現在高	9,806	9,792	10,252	-	-	-	-
財政調整基金	6,044	6,129	6,136	-	-	-	-
減債基金	764	764	764	-	-	-	-
その他特目基金	2,998	2,899	3,352	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	166,966	172,913	176,670	40	-	-	-
自主財源比率	42.4	45.5	42.5	9	-	-	-

④ 歳出の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	1,478	15.3%
物件費	1,592	16.5%
扶助費	1,035	10.7%
補助費等	1,113	11.5%
公債費	341	3.5%
普通建設事業費	2,916	30.2%
補助事業費	2,134	22.1%
単独事業費	781	8.1%
その他	1,194	12.3%
歳出総額	9,669	100.0%

《行政の特色》

まちの将来像である「ひと、みらい輝く交流のまちかたな」の実現を目指し、根幹である人が互いに信頼し、信頼が支え合いを生み出し、支え合いが協働の精神を育くみ、協働によるまちづくりが成されることで環境をつくり、生活や文化、歴史が調和し、継承・発展を遂げながら活気に満ちた未来へつながるまちづくりに取り組んでいる。